

# 河川事業（堤防・護岸）

## ① R6年度の修繕実施状況

### 【維持管理水準】

- ・ 5年間で、健全度1の箇所を全て完了する。
- ・ 健全度3の箇所についても、背後地の条件などを考慮し、優先度の高い箇所から修繕を行う。

### 【R6修繕実施状況】

- ・ 順調に進捗
- ・ 修繕対象箇所に加えて、令和3年度以降の出水等により新たに発生した健全度1の箇所の修繕も、順次実施中

（単位：箇所）

修繕対象	着手済(着手率)	修繕済(修繕率)
1,858	1424(77%)	1424(77%)



# 河川事業（河道）

## ① R6年度の修繕実施状況

### 【維持管理水準】

- ・ 5年間で、健全度1の箇所の浚渫を全て完了する。
- ・ 健全度3の箇所についても、背後地の条件などを考慮し、優先度の高い箇所から浚渫を行う。

### 【R6修繕実施状況】

- ・ 概ね順調に進捗
- ・ 修繕対象箇所に加えて、令和3年度以降の出水等により新たに発生した健全度1の箇所の浚渫も実施

(単位: km)

修繕対象	着手済(着手率)	修繕済(修繕率)
201	140.7(70%)	140.7(70%)



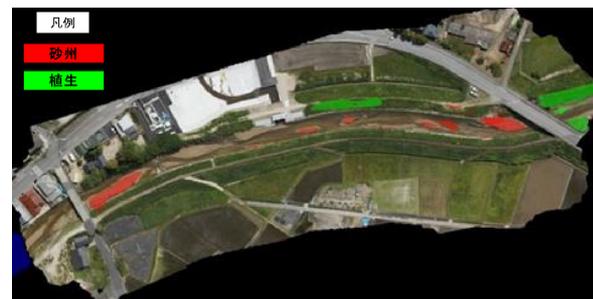
# 河川事業（堤防・護岸、河道）

## ② 高度化・効率化の取組

- ・ UAV等で取得した画像データを活用し、河川を横断的・縦断的に把握することで、河川巡視や点検の高度化・効率化に取り組んでいます。
- ・ UAV等で取得した画像データより、施設や堆積土等の経年変化の状況を把握するとともに、管理用道路がない箇所や近づくことが困難な場所等においても、確実な点検ができるよう、河川管理の高度化に取り組んでいます。



ドローン（360° カメラ）による撮影

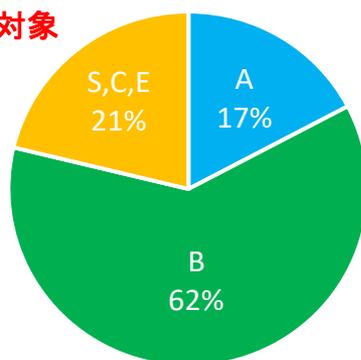


ドローンによる堆積土状況等の確認

## ③ 点検の実施状況

【巡視対象】  
5,645km  
(左右岸合計)

修繕対象



令和6年度点検結果

健全度区分	健全度評価の内容	対策区分
5	劣化や変状がほとんどなく、施設の機能上問題はない。	A
4	軽微な劣化や変状が見られるが、施設の機能低下はなく、経過観察を行う。	B
3	劣化や変状が進行しており、施設の機能低下を起こさないよう対策を行う必要がある。（健全度区分3の段階で修繕することにより、修繕費を抑えることができる。）	S・C
2	劣化や変状が広範囲に進行し、施設の機能が低下しているため、速やかに対策を行う必要がある。	—
1	劣化や変状が著しく進行し、施設の機能が大きく低下しているため、緊急に対策を実施する必要がある。	E

# 河川事業（排水機場）

## ① R6年度の修繕実施状況

### 【維持管理水準】

- ・ 令和2年度時点で健全度1、2と判定された箇所については、令和3年度中に修繕を完了する。
- ・ 次年度以降も同様に、緊急を要する箇所について、速やかに修繕を行う。

### 【R6修繕実施状況】

- ・ 順調に進捗（完了）
- ・ 修繕対象箇所に加えて、令和3年度以降の点検で新たに健全度1・2と判定された箇所も、順次実施中

（単位：施設）

修繕対象(緊急)	着手済(着手率)	修繕済(修繕率)
1	1(100%)	1(100%)

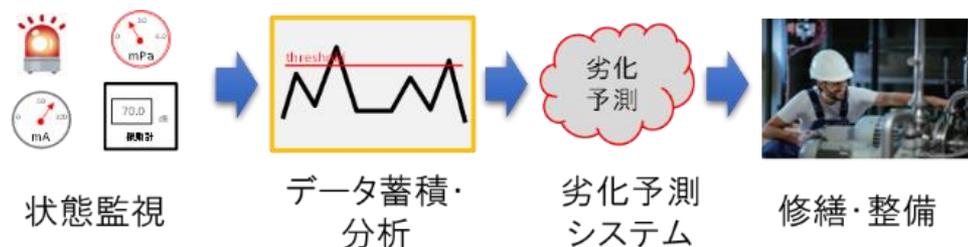
※緊急修繕の他、長寿命化計画に基づく分解整備等を実施中



# 河川事業（排水機場）

## ② 高度化・効率化の取組

・排水ポンプに振動センサー等を設置して、状態監視データを取得し、取得したデータを分析して、消耗品や部品などの適切な交換時期を明らかにする劣化予測システムを構築することで、施設の機能維持とコスト縮減を実現する高度化に取り組んでいます。



## ③ R6点検の実施状況

排水機場	箇所数	A・B	S・C	E
岡ノ下	71	68	2	1
尾崎川	50	40	10	0
新安川	50	48	2	0
手城川	43	27	16	0
坊寺	45	43	2	0
大河原川	48	34	9	5
才町川	18	14	4	0
木曾丸川	22	21	0	1
古市	56	55	1	0
本川	38	32	6	0
羽原川	33	33	0	0
合計	474	425	42	7

健全度区分	健全度評価の内容	対策区分
5	劣化や変状がほとんどなく、施設の機能上問題はない。	A
4	軽微な劣化や変状が見られるが、施設の機能低下はなく、経過観察を行う。	B
3	劣化や変状が進行しており、施設の機能低下を起こさないよう対策を行う必要がある。（健全度区分3の段階で修繕することにより、修繕費を抑えることができる。）	S・C
2	劣化や変状が広範囲に進行し、施設の機能が低下しているため、速やかに対策を行う必要がある。	E
1	劣化や変状が著しく進行し、施設の機能が大きく低下しているため、緊急に対策を実施する必要がある。	